

竹野地域施設一体型小中一貫校 第2回検討状況報告会 会議録

- 開催日 2024年11月21日（木）19:30～20:55
- 会場 竹野庁舎 1階 大会議室
- 出席者 参加者30名
 【内訳：開設準備委員会委員6名、小中学校・園教職員6名、一般18名】
 教育委員会 正木次長
 教育総務課 木之瀬課長、野崎参事、加藤参事、川瀬主幹、今井主査
 学校教育課 寺坂課長、服部所長
 竹野中学校 高田校長

- 内 容
- 1 竹野地域小中一貫校開設準備委員会での検討状況
 - 2 施設整備
 ～ 制服の紹介動画視聴（制作：竹野中学生会）～
 - 3 （仮称）竹野学園の構想
 - 4 意見交換、質疑
 [終了後アンケート回収]

■ 質疑（要旨）

発言者	質 問	回 答
男性	先ほど、制服と体操服の指定の話があったが、靴はどうなっているのか。	靴の指定は今のままで考えている。 通学は運動靴、白の指定靴である。 あとは、上履きと体育館シューズである。
男性	低学年向けのミニグラウンドを整備とあるが、他の学年は使うのか。何年生まで使うのか。 体育の授業等、体育館の利用が被ったりしないのか。 音楽の先生も小中を受け持つということであれば、重複はしないのか。	遊具の規格等もあり、基本的にはミニグラウンドを使用するのは1年生から4年生程度と考えている。 どのような遊具を置くのかは、今後調整させていただく。 全学年でも9学級程度であるため、重複しないように時間割が組める。 遊具についても、低学年棟前のミニグラウンドとは別に、運動場に鉄棒等は設置するので、そちらを使っていただける。 時間割で調整可能である。
男性	クラブ活動についてはどのようなになるのか。前回も尋ねたが、全員入るのか。	部活動は、全員入部にはしていない。 次年度の入学説明会から、希望入部制であることをはっきりと伝えていく。 部活に入りたい子は入り、地域の活動に行きたい子はそちらに参加できる。 また、今後は小中学生が一緒に過ごすので、小学生が中学の部活に参加ということ

		も出てくるかもしれない。大会やコンクールには出られないが、体験する機会が必要であれば検討していきたい。
女性	通学経路や、バスのルートはいつ頃を目途に決まるのか。道の安全性とかが不安である。どのように安全確保されるのか。	小学校の子どもたちが中学校に通うことになるのが2学期からとなるため、それまでに地区の見守りボランティアに立っていただく場所も含めて検討させていただくこととなる。 バスのルートについても、2学期までに地区の方にも相談しながら安全なルートを確保するようにしていきたい。
男性	濱須井地区の子どもたちは自転車で行っている。登校だけでもバス通にしてほしいという意見が出ていたと思うが、それが決まるのはいつになるのか。	波が荒いときに道路が洗われて危ない等の意見は以前から聞いている。 こちらについても、課題であるとして検討をしている。 来年度の認定こども園の入園者にも関わってくるため、結果が分かり次第、どこから何人乗られるのかも含めて検討していく必要がある。 もうしばらくお待ちいただきたい。
男性	本日発表された資料を市のHPに載せることは考えているか。	本日いただいたご質問や、この後に書いていただくアンケート結果も含めて、市のHPに載せさせていただく予定としている。第1回目の検討状況報告会の結果についても、掲載しているのでご確認いただければと思う。 本日、参加いただけなかった保護者向けに、資料を見ていただけるよう、学校園を通じてお知らせをすることも考えている。
男性	たけのふるさと科（仮称）について、学校の先生は竹野出身の方ばかりではない。先生自身も、竹野のことを知る機会を設けていただくことが大切ではないかと思う。 子どもたちが地域の方と触れ合うことについても、どうしてもお客さんぽいと感じることがある。地域でいろいろな体験をする際、怪我の心配もあるので、できること、できないことがあると思うが、もう少し踏み込んでできるようになるとより学びがあると思う。	今年の文化祭で中1の生徒が、小学校で学んだところをおさらいとして発表してくれた。その狙いは、今年から来られたALTの先生に地域を紹介するということであった。 私たち教員は、知っていること、改めて勉強して覚えたことを子どもたちに教えているが、子どもたちが自分自身で知りたいこと、伝えたいことを調べて、逆に教えてくれるようになる、そのようなふるさと学習にしていきたい。 もちろん、教科の学習は我々教員が教えるが、ふるさと学習については、自分たちでみつけて、目を輝かせながら、自慢しながら、逆に教えてくれる、そのようになれば良いなと考えている。 そういった機会が持てるよう、地域の方にもご協力いただきたい。 児童についても、地域を探索して、色々なことを自分たちで探してくる、そのよう

		な学習を来年に向けて始めている。学習の質を高めようとしている。 我々教員についても、今年の夏に、中竹野、竹野南で、地域の方から話を聞いたりして、竹野のことを知ってもらう研修をしている。そのようなこともしながら、ふるさと学習につなげていきたいと考えている。
女性	私自身が竹野の出身で、例えば夏場には、海で体育の授業をした。ふるさと科で区切ってしまうのではなく、教科の中でも教科書だけではなく、地域に馴染めるような取組ができればと思う。	以前は、遠泳等もしていたと聞いている。 こんなことができたらいいなということはたくさんあるが、移動時間等も含めて可能なことはやって行きたい。優先順位をつけてしていこうと考えている。 特に中学生は水泳の授業がないので、海に行つてといこと自体はないが、例えば、理科で勉強するようなことについては、スノーケルセンターで等、色々なところに材料はあるので生かしていければと思う。 小学校では、行事として、浜で相撲をしているが。そういったことも生かしながら行っていきたい。
男性	中学生はプールの授業をしていないとのことだが、小学校のプールはまだ新しいと思う。それは活用しないのか。	来年の1学期中は、小学生は現校舎で過ごすので、水泳の授業は小学校のプールで実施していただくこととなる。 それ以降についてだが、竹野の跡地についての利活用について、地域で検討組織を立ち上げられ、利活用について色々のご意見もいただいている。 竹野B&Gを利用するか、あるいは、跡地利活用として小学校のプールを維持するようなこととなれば、そちらのプールを使用する、その両面で検討することとなる。 現在、他の学校では、学校にあるプールではなく、民間等のプールに出向き、そこで指導してもらうような取組を始めている。竹野についても、中学校に新たにプールを設置するのではなく、外部のプールを利用し、そこで指導も受けるという形で考えている。
女性	トライやるウィークの受入れを行っている事業者としてお話をさせていただく。 学校側からは、事業所に向けて、この行動はNGだとかの制約はない形なので、自由にやらせていただいているが、できれば、もっと教えてほしい内容等を共有してほしい。 今年から、公共交通機関を利用して豊岡南中学校などからも竹野に来ていただい	トライやるウィークでは、現在一週間お世話になっているが、5日間は無理だが1～2日であれば、受け入れができると言っている事業者もある。 そのあたりはできるだけ対応していければと考えている。せっかく学校から離れて地域に出かけていける機会なので、「ウチに来ればこのようなことができる」、また、地域の方から「ここにはぜひ行った方

	ているが、もっと豊岡市内で交流して広がっていけばと思っている。	が良い」等があれば、ご紹介いただければと思う。子どもの希望を最優先して行き先を決めるが、いろいろな選択肢があれば、子どもたちも迷うと思う。 しっかりと迷わせてやりたいと思う。
男性	子どもの数を見ると、年々10人位減っていくようなことになっていて、びっくりしている。何を維持していくにしても、子どもが減っていくと大変であろうと、親として感じている。 そういった中で、竹野の子どもたちへの教育に対して、学校にお任せではなく、親としてもっと協力をしていかなければならないと感じた。	
男性	たけのふるさと科（仮称）の話が出る中で、今年もなんとか、子どもたちに芋ほりをしてもらうことができたが、どこかで田植え等、もう少し地域の体験をする場が持てればと考える。 できれば来年も芋ほりを体験させてやりたいと思って頑張っている。	授業時間の確保が難しい中で、体験ということは大切だと思う。ただ、体験だけやりっぱなしでは良くないという考えもある。何のためにするのか、子どもたちが課題をもって、一定のストーリーをもって体験をさせてやりたい。 「米作りが竹野にとって大切だ、どのようなお米ができるのだろう。」そのような疑問を子どもたちが持てば、そういうこともあると思う。
女性	子どもの人数は減ってしまうが、逆にこれはチャンスだと捉えた方が絶対に良いと思う。 先生方の一致団結のもと、まとまりやすい環境でいろいろな機会を与えていただける。 大勢の人数での学習は、この先、高校や大学であると思うが、少人数での学習も大切だと思うので、悲観せず、自信をもって進めていただければと思う。	
女性	今まで何回も報告会や検討会に参加させていただいたが、特色のある学習やふるさと学習など、これまでぼんやりとしていたことが、今日、しっかりと説明していただいて、よくわかった。 検討委員会の方等、たくさん考えていただいた結果だと思う。 小学生からふるさと学習を行うが、同じことの繰り返しにならないように、3つの期間（4-3-2）にわけて行うとか、決めきらずに広がりを持たせて進めていく、更新していくという考えは良いなと思った。 先生方は竹野の方ばかりではないし、これから新しい先生がどんどん来られると思うが、その中で、先生が全部を知って	

	しまって子どもたちに教えるよりも、先生も一緒に竹野の町中に出て行って、一緒に学んでいければ、子どもたちの主体性も伸びると思う。 校舎の外観が見えてきて、校章も校歌も制服も見えてきて、楽しみだなと思った。	
--	---	--

■ アンケートでの意見

- ・ 部活が任意だと聞いた事で安心した。
- ・ 大変よく理解できました。
特に、「たけのふるさと科（仮称）」の取組は素晴らしいと思います。但馬全体を勉強（学習）の対象にしてもよいのかなと思います。
結果として、ふるさと教育が大人になった時に、どのような効果、影響を期待するかも重要だと思います。
- ・ 学校－家庭－地域で協力し合って、教科書での学びだけではなく、今日言われていた色々な体験も出来る学校になることを、心より願っています。
- ・ ここまで準備、考えてこられて大変だったと思います。
今日色々話を聞けて、少しずつイメージがついてきました。
参加して良かったなと思います。
竹野学園がより良い学園となり、スムーズなスタートがきれますよう、よろしくお願い致します。
※濱須井の7～9年生もバス通できますよう、何卒よろしくお願いしたいです。
- ・ 分かりやすかったです。ありがとうございました。
- ・ ふんわりしかわかっていない所も今日きけたのでよかったです。
子供たちが学校生活をおくる中で工事なども行われるので、安全面など充分に気をつけてほしいし、通常の学校生活に支障がないようにしてほしい。
- ・ いろんなことを決定していかないといけない中、細かな報告があり、今までよりも、竹野学園（仮）が身近に感じられました。
まだまだ未決定のことはありますが、楽しみにになりました。
- ・ 今回、中学校の校長先生にお越しいただき、今まで、ぼんやりとしかイメージできなかったことが、見えてきたように思います。
“ふるさと学習、特色あるカリキュラム”といっても、どんなことをするのだろう…と思っていましたが、9年間でうまく3期に分けて学習計画を立てられておられることが分かり、子どもたちの学びも、ますます深まるだろうと思います。
- ・ 竹野学園の開校に向けた準備が着実に進んでいるとよくわかりました。
教育内容も、具体的な目指す姿を教えてもらえました。引き続き、協議を進めてもらえたらと思います。ありがとうございました。
- ・ 全体の概要が少しずつわかってよかったと思います。
まだまだ細かい決めごともありますが、決まり次第公表していただき、町民全体で支えてあげればと思います。
ただ、子どもたちがあれもこれもすることがあり、楽しめればよいですが、負担になってしんどくならないようにしっかり見ていかないといけないと思いました。
- ・ 特色あるカリキュラムの内容が少しずつ見えてきて、ワクワクする報告会でした。ただ心配な

のは、指導の歩調を合わせるという点です。小・中のギャップは子どもだけではなく教職員にも生じると思います。そのようなギャップを埋めるために職員間の丁寧な対話をお願いしたいです。
あとサポートルームの運営方法が個人的に気になりました。

- ・ 中学生の子ども達も、気がねなく過ごせる学校になる事を切に願います。
体育館使用であったり、校庭利用、共有スペースが増える事で中学生が我慢しない学校作りをお願いします。
- ・ 通学の要望にも書かれていましたが、土曜日のバスを2本にして頂きたいです。
森本から10分強で帰れるところ、何十分もかかるため。
- ・ 切実をお願いします。
猛暑になっているので空調設備（体育館、剣道場）を早く行ってやって欲しい。総体前等に活動出来ない。洋式便器も少ないようなので、早く増やしてやって欲しい。雨もりがした時があったので、校舎の点検もしっかり行ってください。
給食は、全校生でランチルームで食べるのでしょうか。
- ・ 児童・生徒数が少ないのはピンチではないと思います。チャンスととらえて、伸ばしていってほしいと思います。
- ・ 参加者が少なくて残念でした。
オープンスクール等とかありがたい会等、保護者が来られる時に開催されてはどうでしょうか？
子供らが楽しく過ごせる学校になってほしいですね。
- ・ 参加者がもっと増えたらいいのに。